
地方交付税制度について

地方交付税制度とは、どの自治体(県・市町村)でも住民に一定水準の行政サービスが提供できるよう、国が集めた税金(所得税・法人税などの一定割合)を税収の少ない自治体に配分する制度です。

この制度は、自治体の必要な財源の保障を行う機能を果たしていますが、一方で、この財源の保障が自治体の国への依存体質を強めているのではないかと、財源の保障範囲が過大ではないかなど、現在、地方交付税の見直しが議論されており、県財政への影響が心配されています。